

地区ガバナー就任のご挨拶

—— Create Awareness TAKE ACTION ——

意識を喚起し — 進んで行動を



ガバナー

進谷 雅彦

この度、土井ガバナーエレクトには病状が芳しくなく6月末日をもってガバナー就任を辞退されました。まことに残念の極みであります。同氏は永年地区規定・情報委員長を務められ『ご存じですか』の出版をはじめロータリーの普及に専念され、まさに生き字引としてロータリー活動に貢献されてきました。指名委員長としてガバナーに最もふさわしい人材を選出できたと安堵と誇りをもってご活躍を期待しておりましたので、まさか、私が今年度のガバナーに再度就任することになるろうとは夢にも思っておりませんでした。今回のような場合にはパストガバナーからガバナーを選出しなくてはならないとのことでしたが、私としては数々の難問がありとてもお引き受けできない理由があり、適任の方もおられることでしたし安心してましたが、その理由をクリアされてしまい、結局はお引き受けせざるを得ないことになりました。この間、柏木パストガバナーがアクティングガバナーとしてガバナー業務を代行され、臨時諮問委員会、臨時指名委員会、パストガバナー会さらに地区委員長会議、地区会長会議などを主催されガバナー選任のため大変な心労を重ねられました。まことにご苦労様でした。

いろいろなことがあったとしましてもお引き受けしました以上、皆様とともに全力を挙げてロータリー活動に専念するつもりであります。ピンチヒッターという意識は毛頭ありません。2000～2001年度のガバナーとして私なりの個性は生かして活動させて頂くつもりですので宜しくご支援ください。ホストクラブは大阪北ロータリークラブにこれまでの陣容のままをお願いすることになりますが、前回私のガバナー年度で地区代表幹事をお願いし、また、昨年私が事務総長を務めました関西4地区連合地区大会で事務次長として活躍されました千里RC元会長の井上暎夫氏に再度登場願い、ガバナー補佐としてご助力願うことにしました。このガバナー補佐は今年度限りの役職として頂き、リーダーシッププランのガバナー補佐とは全く異なることを念のため申し添えておきます。この件に関しましては改めて検討して頂くことになっています。また、同じく前回地区副代表幹事をお願いしました豊中一大阪国際空港RC元会長の永野啓之介氏に地区アドバイザーとしてご助力頂くことになっています。お陰様でホストクラブをはじめこのような強力な支援体制をお願いすることができましたが、ロータリー活動の主体はもちろんそれぞれのクラブにあります。各クラブそしてすべての会員の皆様の温かいご支援を切にお願い申し上げます。

きて、またかとお思いになられるかも知れませんが、1997年私がガバナーに就任致しましたとき、“ロータリー精神の原点に立ち戻り、ロータリー活動を見直そう”そしてその原点は“愛”であり、“ロータリーは愛にはじまって愛に終わる”と申し上げました。その気持ちは今も決して変わるものではありません。それがひとりひとりに根付いてこそI serveであり、この原点を理解し共有するロータリアンすなわちロータリーの分身であれば何人集まってもそれは大きな“I”であり決してWeではありません。私はまた——奉仕を実行するに当たり、まず身近なところから実行して下さい。その気持ちをもって廻りを見つめると、救いの手を待つ人達が見えてくるでしょう、そして、その人達に見返りを期待しない愛の手を差し伸べて下さい——と申し上げました。わずかであっても見返りを期待した行動は、それがなくなると結局は自らが苦しむことになるからです。救いの手を差し伸べたとき、感謝のまなざしに感動を憶える素晴らしさを是非体験して頂きたいと思っています。当地区にはこのような方々が多く輩出されてきつつあることを誇りに思っています。今年のRIのテーマは、『意識を喚起し、進んで行動を』であります。これまで申し上げたことを出発点として、改めて今年度のテーマを理解し実行に移して下さい。フランクJ. デブリン会長はすべきことは山程ありその全てにおいて積極的に行動して欲しいと述べておられます。本号の最初に掲載した会長メッセージ(P1~3)を熟読して下さい。会長はまた国際協議会において、2000~2001年度に達成すべき事柄として次のような行動目的を掲げておられます。

1. ポリオプラスのような継続的かつ献身的な進行中のプログラムはそれを保持し完了するべきである。
2. 会員増強および退会防止への積極的なアプローチを行う。新しい質の高い会員をロータリーに加え、ロータリーに所属していることの意義を深めて新旧会員が退会を考えないようにすべきである。
3. ロータリーの一般イメージの高揚に務めること。広報活動に積極的に参加すること。
4. より多くのパートナーシップを築くこと。種々の機関、奉仕団体などとの積極的なパートナーシップによって奉仕の機会を広げること。

会長のメッセージおよびこれらの行動目的を基盤として、今年度の当地域での重点事項を次のようにしたいと思いますのでご協力をお願いします。

1. ロータリーの綱領、四つのテストの実践

最近の職業倫理の低下はロータリーとして看過できません。使命感に裏付けられた職業奉仕の実践に努力して下さい。

2. 会員増強・退会防止

質の高い会員増強をお願いします。また、できれば若い会員を加える努力をして下さい。このためには息の長い青少年奉仕活動も効果があるのではないのでしょうか。彼等は未来のロータリアンであります。クラブの運営を工夫し、退会防止に努力して下さい。

3. 奉仕活動

地域社会、国際社会のニーズを見極めたうえでこれに応えるべく積極的に奉仕活動を実践して下さい。共に汗する奉仕活動から友情が生まれます。継続的な奉仕活動は一度見直し、継続すべきか否かを判断して下さい。クラブの国際奉仕活動にロータリー財団補助金を活用して下さい。

4. ロータリー財団、米山記念奨学会への寄付

当地区の寄付活動は世界或いは日本有数のものとして顕著なものがあり感謝しておりますが、更に上を目指して下さい。皆様の努力は地区に還元され、皆様の奉仕活動に役立てることができます。

5. 広報活動

ロータリーの目指すところを広く理解して頂き、共感者を得ることはロータリー活動にとって大変重要なことであります。奉仕活動を地域に、そして世界に広めるために、これまでロータリーは何をしてきたか、今何をしているか、そして21世紀に向けて何をしようとしているかをできるだけ多くの人達に知って頂くことが大切です。これによって更に奉仕活動への的確なニーズの把握ができますし、共感者を得ることが会員増強にもつながるでしょう。地区委員会が提唱していますインターネット、電子メールの普及およびマスコミの活用協力下さい。

6. クラブ拡大

クラブ拡大はクラブならびに地区の活性化或いは結果として会員増強に資するものとして重要な課題です。当地域ではすでに84クラブに増加し大変有力な地区になっております。近隣クラブ、地域の皆様の祝福のもとに誕生するクラブを目指して拡大に努めて下さい。

7. わが国の教育への関心を高める

青少年の教育は国の将来を左右する大問題であります。しかも、その成果が現われるのは数十年後であり、教育制度、教育方法、教育者などの在り方についての改革と実行が緊急の課題となっております。心の教育が叫ばれていますが、それとともに学力低下、理科ばなれの現状をどう切り抜ければ良いかなど、教育問題特別委員会だけでなく会員全体が意識を喚起し、的確な提言をしたいものです。

8. 2004年RI国際大会（関西）

2004年に大阪を中心としてRI国際大会が開催されますがその準備に皆様のご支援をお願いします。

以上私達の年度は21世紀の扉を開く歴史的な年度であります。貧困や疾病、差別や争いから解放され、真に平和で豊かな生活をすべての人達が平等に享受でき、なおかつ地球の恵みを満喫できる素晴らしい世紀にすべく何かを残しておきたいものです。形あるものとして残すのも一案でしょう、しかし、形あるものは何時か滅びます。次世代、次次世代に脈々として受け継がれるロータリーの奉仕の心を実践をとおして残して行きたいものであります。私たちの行動が世紀の掛け橋を虹色に染め、素晴らしい21世紀への黎明にふさわしいロータリー年度となりますよう皆様とともに邁進したいと思います。宜しくご支援下さい。

近藤ガバナープロフィール

生年月日 1930年7月20日
現住所 661-0953 尼崎市東園田町3丁目77-9
最終学歴 大阪大学大学院医学研究科修了・医学博士

職歴

1960年4月 大阪大学微生物病研究所助手
1963年9月 フルブライト交換研究員（米国テキサス大学）
1965年10月 大阪大学薬学部助教授
1971年5月 大阪大学教授（薬学部）
1973年3月 外務事務官（経済局）併任
1981年5月 大阪大学薬学部長
1983年5月 大阪大学薬学部長
1986年7月 大阪大学評議員・総長補佐
1994年3月 停年退官
1994年4月～ 大阪大学名誉教授
（学法）滋慶学園グループ
滋慶教育科学研究所長
大阪ハイテクノロジー専門学校長
大阪保健福祉専門学校長
東京スクールオブミュージック専門学校長
東京コミュニケーションアート専門学校長
摂南大学客員教授
大阪府立公衆衛生研究所顧問
総理府中央環境審議会委員
厚生省食品衛生調査会委員
通産省化学品審議会委員
大阪府薬事審議会会長
大阪府環境影響評価審査会会長
大阪府、尼崎市環境審議会委員
関西国際空港環境監視機構検討会委員
その他

主な役職

（財）大阪生化学研究奨励会理事長、日本スリランカ教育支援協会会長、（財）千里ライフサイエンス振興財団常任理事、日本化学工業協会レスポンシブルケア協議会顧問、（財）ファイザーヘルスリサーチ振興財団名誉理事、日本細菌学会名誉会員、日本防菌防黴学会顧問ほか

ロータリー歴

1978年 吹田北RC（現千里RC）入会
1987～8年度 千里RC会長
1997～8年度 国際ロータリー第2660地区ガバナー
1999年度 関西4地区連合地区大会事務総長
2000年 2004年RI国際大会（関西）実行委員会委員
米山功労者、PHF
（職業分類：シニアアクティブー環境科学教育）

表彰等

環境保全功労者、水質保全功労者、大阪府知事行政功労表彰、米国テキサス州名誉市民、同オースチン市名誉市民、同フロリダ州ペンサコーラ市名誉市民、地球環境産業技術研究機構優秀研究企画賞